

来年度予算編成に区民の願いを… 共産党区議団が重点要望を提出



大震災、原発事故、区民実態をふまえ、福祉防災のまちづくり、暮らし応援の80項目を反映させるため重点要望書を提出しました。当日は、三嶋、三ツ木両副区長が応対しました。

今回の要望書は、区の予算編成作業に合わせて反映させるため、緊急性を重視して80項目の重点要望を提出しました。

大震災、原発事故、区民実態をふまえ、福祉防災のまちづくり、暮らし応援の80項目

9月20日、日本共産党荒川区議団は、2012年度予算編成に区民の切実な要求を反映させるため重点要望書を提出しました。当日は、三嶋、三ツ木両副区長が応対しました。

今回の要望書は、区の予算編成作業に合わせて反映させるため、緊急性を重視して80項目の重点要望を提出しました。

「改定」で来年4月から変更される介護保険など制度の更なる見直し、いまま開会中

「住民が主人公」「区民の声で区政を動かす」立場で引き続きがんばります。

全部をご紹介できませんが、その一部を掲載しておきます

区の地域防災計画を震度7を想定して抜本的に見直すこと。その際「区民の命」を守る予防を中心に据え、津波や放射能汚染被害についても位置づけること。

高齢者、障害者など災害弱者の住宅について「出前診断」など行い緊急に耐震補強工事も含めて支援すること。

見守りネットワーク事業の体制、メニューの充実を福祉施策としてすすめること

改定介護保険制度で軽度者に介護保険と高齢者福祉の充実への介護サービスが低下しないよう対応すること。

「ふるわり200」について年齢65歳以上に緩和し、毎日利用可能な制度に拡充すること。

区内を一定のメッシュに区切って放射線量測定を実施すること。とりわけ学校、幼稚園、保育園、通学路、公園、産科医院などきめ細かい放射線量測定を実施すること。また放射線測定は、定期的に行い結果を専門家の協力も得て公表すること。

緊急対応として首都大学東京の協力を得て学校、幼稚園、保育園など放射線量測定を実施すること。

きめ細かい放射線量測定と基準を示して砂場、芝生、側溝など必要な場所の除染をすみやかにおこなうこと。

セシウム汚染牛の調査と被害を受けた小売店への損害賠償を国に要求するとともに区として対策を講じること。……など

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

439

2011年10月2日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
E-mail arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
E-mail yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
「横山幸次区議」で検索して下さい。

裏面 区議会情報…、
放射能汚染問題など

定例法律相談

10月3日(月)
午後6時～8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

町屋から川沿いに南千住にむかう道で拡幅工事 車道の拡幅ですが、歩道、自転車道の確保も必要!

町屋駅から京成線沿いに隅田川の堤防にぶつかり、急カーブしてそのまま南千住方面に抜ける道の工事が行われています。ここは、大型車両やコミバスさくらも通りますが、現在の道幅では曲がるのもなかなか大変です。今回の工事は、隅田川沿い30mほど車道を広げ、歩道を堤防の側に移動するようです。この道を通った方も多いと思いますが、歩行者、自転車の通行もけつこうなものです。通勤通学、買い物などお出かけて町屋駅に出る生活道路となっています。狭い歩道に自転車併走、車道を走るべきですがそこも狭くて

危険な場合もあります。せつかく工事をするのであれば、歩道の拡幅をやはり計画に入れておくべきだと思います。車優先の発想からほんとうに意味で歩行者優先に切り替える時代と思うのですが。

(横山幸次)



区議会情報…



大切な学校、保育園、ひろば館など 区施設の良好な維持、長寿命化を

昨年の予算執行を審査する「決算に関する特別委員会」（9月22日～10月5日・8日間）が開催されています。大震災、原発事故の教訓から防災や福祉、放射能から区民、子どもの健康を守る取り組みなど質疑の内容をお知らせします。

3/11震災による主な区施設と町屋地区の学校など公的施設の被害状況

施設名	破損箇所	耐震補強工事
本庁舎	各階の壁クラック、ガラス破損	免震工事終了
サンパール	床タイル剥がれ、大ホールオーケストラピットにひび割れ	耐震基準を満たしている
ムーブ町屋	キレツ(壁などクラック)、ステージ吊り金具の振動で壁に穴	新耐震基準で建設
荒木田ふれあい館	階段室にクラックなど	新耐震基準で建設
山吹ふれあい館	開口部角部にクラックなど	新耐震基準で建設
町屋ひろば館	玄関前床タイルクラック・壁クラック浮き、体育館証明笠落下など	2000年耐震補強工事
町屋図書館	一部割れ剥落、Lアングル固定ねじ多数外れなど	今年度に耐震補強(東京都)
四峡小	ひび割れ多数、渡り廊下の天井が崩れる、一部の柱に鉄筋がぶり厚不足で表層剥離落下多数、棟の接続部でモルタル破損	1998年耐震補強工事
大門小	水道管破裂、体育館正面壁にクラック・天井材が外れかかる、ピロティ床にクラック	1998年耐震補強工事
五中	照明器具降下	1998年耐震補強工事
原中	天井材の破損・ズレ、プール配管漏れ、消火用水槽のセンサー異常	1997年に新耐震基準で建設
五峡小、七峡小は被害報告なし		いずれも耐震補強工事済み

破損箇所などは、区として対応し必要な補修工事など終了

災害時の避難所となる施設です。前倒しで建物の検査と修繕、改修を。今回の決算委員会では、会派を問わず「震災対策」について議論が集中。横山区議は、大震災時に学校含む区施設に少なくない被害が出たことを取り上げ、安全対策や補修、改修を前倒しですめることを提案。区は、3年毎に定期点検を実施しています。直

近は震災前の昨年です。震度5での被害状況を検証、震度6や7を見越した対策が必要。耐震補強は、10年以上前に実施したものがほとんどです。徹底した安全確保と建物を良好な維持・長寿命化を公共事業の重点にする時代になっていると思つていますが…。

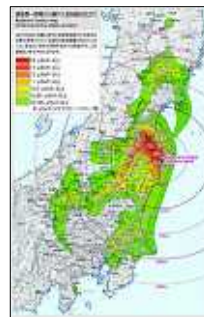
お知らせ

区立幼稚園の2012年度の入園募集

区教育委員会が来年度の区立幼稚園の申し込み日程を発表。10月から入園申し込み書を配布し、受け付けは、11月7日(月)・8日(火)となります。募集人数は、下の表通り。昨年、町屋幼稚園をはじめ希望者が多く、急ぎよ募集定員を超えて入園を受入れました。今年も昨年同様募集定員を3才児35人にしています。しかし小学校ですら順次35人学級に移行している中、3歳児が同じというのはどうでしょう。入れないのも困るのですが、一人ひとりの子どもたちのゆとりある保育を考えると公私立を問わず、身近な幼稚園の増設が必要です。

園名	3才児		4才児		5才児			
	定員	募集	定員	募集	定員	募集		
南千住第二	25	30	70	30	40	70	50	20
南千住第三	25	35	35	30	5	35	25	10
町屋	25	35	70	35	35	35	25	10
花の木	25	35	35	30	5	35	20	15
尾久	25	35	35	15	20	35	15	20
尾久第二	25	35	35	20	15	35	20	15
日暮里	25	35	35	15	20	35	20	15
東日暮里	25	35	35	15	20	35	25	10
汐入こども園	10	10	43	10	33	43	38	5

福島原発事故で放射能はどこまで飛散？ 100、200kmのところにも蓄積…



27日、共産党志位委員長が国会で「放射能除染の必要性」「その基準を示す」「国の責任で除染」など追求しました。その際示したのが群馬大・早川由起夫教授作成の放射能汚染地図です。やはり基本は正確な情報です。興味のある方は「早川由起夫火山ブログ」をぜひ…



四訂版2011年9月11日(初版4月21日)
著者：早川由起夫(群馬大学)
(※「早川由起夫の火山ブログ」より)